

## 入野谷そば復活夢プロジェクト 収量拡大及びPR事業

### 取組に至る背景・事業の目的

- 高遠・長谷地区には古くから入野谷在来種というそばが存在していたが、戦後の食糧難対策のために栽培を奨励した信濃一号の普及により一度絶滅したかに思われていた。
- その後有志の搜索により、奇跡的に種が発見された。その量はわずか20g。その中で発芽したのはたった6粒であった。その後、種を増やしていき、栽培・収穫・出荷するまで復活した。
- この入野谷在来そばの収量をさらに増やし、地域振興へつなげるため、品質管理をするための保管用冷蔵庫を設置する。
- また、入野谷在来そばを認知拡大させるため、HPを作成しSNSとあわせて広くPRを行うとともに、種まきや収穫イベントを開催し、地域住民と共同作業を通じて周知していく。

### 事業内容

- 入野谷そば振興会拠点施設に保管用冷蔵庫2台を設置
  - ・2台で30kgの米袋56袋が収納可能
- 入野谷在来そばに特化したHPを作成
  - ・発見からのストーリー、提供店舗の紹介等
- 収穫イベント
  - ・伊那北高校1年生30人が圃場見学
  - ・発見からのストーリー、目標・課題等を学習



【設置した保管用冷蔵庫2台】

### 事業効果

- 収量拡大
  - ・[令和元年] 7,900㎡、収穫高500.6kg
  - ・[令和2年]13,000㎡、収穫高2,418kg(委託分込) 前年対比約480%増
  - ・保管用冷蔵庫に全て保管し、品質を落とすことなく出荷することができた。今後も収量拡大に注力することができる。
- PR事業
  - ・コロナ禍のため、地域住民の公募を取りやめ、収穫・脱穀作業に有志のそば店店主が参加。
  - ・参加した店主がSNSで発信し周知した。
  - ・収量が増え認知度も上がると、入野谷在来そばを食べに来る人も増え、地域振興につながる。
  - ・伊那北高生約30人に入野谷在来そばを周知することができた。うち3人が今後の活動に参加希望。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

入野谷在来の品質の向上は今までも取り組みを行ってきたが、引き続き課題と考える。現状の品質に満足する事なく今後も品質向上に取り組んでいきたい。また生産圃場が増えるにしたがって品質のばらつきが出てくる。その品質のばらつきに対してどのように対応するかも今後の課題になってくる。

#### 【選定のポイント】

絶滅したかと思われた入野谷在来そばの復活に取り組み、令和元年には地元そば店に出荷するまでに復活させた。

契約をした地元そば店での提供や、HPでの紹介を通じて「幻のそば」として付加価値を高め、地域振興への寄与や事業の発展性が期待される。

団体名	入野谷そば振興会	事業タイプ	ハード事業
連絡先	伊那市役所 長谷総合支所 農林建設課 0265-98-3140	事業費	994,950円
		支援金額	663,000円